

出生前検査について

2013年4月より、新型出生前診断が臨床研究として開始されました。現在、臨床研究を行う病院も増えてきたこともあり、みなさまからのご質問が多くなっています。

当院では、積極的にお勧めしている検査ではありませんが「既存の検査とどのように違うのか」「どんな検査なのか」について、お話をさせていただきます。

● 検査の比較

	クアトロ検査	母体血中胎児染色体検査 ＜新型出生前検査＞
非確定的／確定	非確定的検査	
実施時期	15-18週	10-22週
対象となる疾患	<ul style="list-style-type: none"> ※ 21トリソミー（※ ※ 18トリソミー ※ 開放性二分脊椎症 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 21トリソミー ※ 18トリソミー ※ 13トリソミー
感度 (ダウン症候群に対して)	80-85%	99.1%
検査内容	<ul style="list-style-type: none"> ※ 血液を採取し、血液中の4つの成分（AFP、hCG、uE3、inhibin-A）を測定。 ※ 年齢+血液結果+因子を用いて一人ひとりの確率を算出する。 	母体血中の、胎児に由来するDNA量を測定する。
検査の安全性	非侵襲的。 採血のみ。	
特徴	21トリソミーの80%以上を検出。	<ul style="list-style-type: none"> ※ 母児に無侵襲。 ※ 21トリソミーの検出率が高く、擬陽性率が低い。(0.1%以下) ※ 妊娠10週から可能。 ※ 臨床研究段階の為、対象者に制限がある。
検査の限界	<ul style="list-style-type: none"> ※ 擬陽性率が高い。(5%程度) ※ 前回の妊娠の影響を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 羊水検査でわかる染色体疾患の2/3程度の異常しか検出できない。 ※ 胎盤性モザイクの検出。
検査費用	2~3万円	21万円程度 別途、ご夫婦で受ける遺伝カウンセリング料がかかります。
検査日数	約2週間	約2~3週間

※21トリソミーとは、21番目の染色体が1本多く存在しダウン症とも言われます。

確定診断は羊水検査になります

